

平成24年度 公の施設の指定管理者による管理運営状況

所管課 文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課

電話 075(366)1498

1 公の施設の概要

公の施設の名称	京都市文化財建造物保存技術研修センター		
所在地	京都市東山区清水二丁目205-5		
ホームページアドレス	http://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000005595.html		
設置年月	平成15年9月	利用料金制度	■ 有 □ 無
設置根拠 (法令, 条例)	京都市文化財建造物保存技術研修センター条例		
設置目的	市民の文化の向上及び発展に資するため, 文化財建造物その他の文化財を保存するための技術の継承に資する活動, その他の活動の用に供するため		
施設の概要	① 保存技術の継承に資する研修, 会議等のための施設の提供 ② 保存技術に関する資料の展示のための施設の提供 ③ 保存技術に関する情報の提供 ④ その他市長が必要と認める事業		



2 指定管理者

指定管理者の名称	公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会
主たる事業所の所在地	京都市東山区清水二丁目205-5
指定期間	平成23年4月1日～平成27年3月31日(4年間)

3 指定管理者の業務の運営状況

(1) 事業概要	
①施設の管理運営	
【貸館業務】 ・受付窓口業務（貸館申込受付，利用料徴収等） ・施設の維持管理等（清掃，警備，部屋施錠・開錠） 【サービス向上の主な取組】 ・適切な人材配置，研修等による利用者対応の向上 ・案内表示の改善 ・センターパンフレットの発行 ・見学者の受入れ，案内業務 ・施設運営の参考とするため，施設利用者に対してのアンケート調査の実施	
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容	
②事業実施	
・文化財保存技術の保存・継承を目的とした研修や会議等のための施設の提供 ・文化財保存技術に関する普及啓発のための展示，情報の提供	
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容 修学旅行生等の体験学習の受入れや，市民向けの幅広い文化財講座の開催にも取り組んでいく。	
(参考) 自主事業内容	
③サービス提供状況	
センター長 1 名，担当職員 2 名 計 3 名	
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容	

(2) 施設の利用状況(施設の稼働率，利用者数，事業参加者数など)							
年 度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度	2 6 年度			
指標① 利用者数 （目標値は前年度実績）							
目標値 (人)	2,132	1,531					
実績値 (人)	1,531	1,860					
対前年度比	-	121.5%					
目標達成度	71.8%	121.5%					
指標② 施設稼働率 （目標値は前年度実績）							
目標値 (%)	41	39					
実績値 (%)	39	47					
対前年度比	-	120.5%					
目標達成度	95.1%	120.5%					

(3) 指定管理者の業務の収支状況 (単位：円)						
①指定管理業務の収支状況						
年 度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度	2 6 年度		
ア 収入状況						
委託料	-	-				
利用料金	1,423,100	1,918,200				
その他	1,203,121	506,748				
収入計	2,626,221	2,424,948				
対前年度比	-	92.3%				
イ 支出状況						
人件費	960,000	960,000				
事業費	-	-				
委託費	629,215	481,215				
小額修繕費	-	-				
その他	1,165,121	1,209,803				
支出計	2,754,336	2,651,018				
対前年度比	-	96.2%				
ウ 収支						
収支	△128,115	△ 226,070				
対前年度比	-	176.5%				
②その他の業務の収支状況						
年 度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度	2 6 年度		
ア 収入状況						
委託料	-	-				
補助金収入	1,000,000	1,000,000				
自主事業	-	-				
その他	204,543	1,399,332				
収入計	1,204,543	2,399,332				
対前年度比	-	199.2%				
イ 支出状況						
人件費	-	-				
事業費	1,153,288	2,305,214				
委託費	-	-				
その他	51,255	94,118				
支出計	1,204,543	2,399,332				
対前年度比	-	199.2%				
ウ 収支						
収支	0	0				
対前年度比	-	0.0%				

4 施設の利用者満足度の把握

① 利用者満足度の把握状況
24年度未把握
② 利用者満足度把握の結果
③ 意見等への主な対応状況

5 評価

①指定管理者
(自己評価) ・「静かで良い施設」や「展示が興味深い」と利用者や見学者に好評である。 ・見学者の希望があれば、ビデオの上映や檜皮葺体験を行っている。また、外国の方に対しては外国語版の資料提供(英語、中国語、韓国語)やビデオ(英語)の上映をしている。 ・今後も文化財の保存技術の継承等に寄与する団体等主催の研修会やイベントでの利用誘致に努めるとともに、文化財の保存技術の継承、後継者の養成事業を前提としつつ、一般向けの幅広い文化講座の開催等にも取り組んでいく。
②本市
(指定管理者に対する評価) 平成24年度は前年度から利用実績が増加した。今後も、利用実績の改善のため、指定管理者に施設の活用方法の検討や利用の呼びかけを一層積極的に行うように指導していく。

平成24年度 公の施設の指定管理者による管理運営状況

所管課 文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課

電話 075(366)1498

1 公の施設の概要

公の施設の名称	京都市考古資料館		
所在地	京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265番地の1		
ホームページアドレス	http://www.kyoto-arc.or.jp/		
設置年月	昭和54年11月	利用料金制度	☐ 有 ☒ 無
設置根拠 (法令, 条例)	京都市考古資料館条例		
設置目的	埋蔵文化財の調査並びに出土品その他の考古学的資料の整理, 研究, 収蔵及び展示を行うため		
施設の概要	① 考古資料の収集, 保管及び展示 ② 考古資料に関する調査及び研究 ③ 考古資料に関する講習会, 講演会等の開催 ④ 考古資料に関する情報の収集及び提供 ⑤ その他市長が必要と認める業務		



2 指定管理者

指定管理者の名称	財団法人京都市埋蔵文化財研究所
主たる事業所の所在地	京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265番地の1
指定期間	平成23年4月1日～平成27年3月31日(4年間)

3 指定管理者の業務の運営状況

(1) 事業概要	
①施設の管理運営	
【展示業務】 ・考古資料の展示、公開(常設展示及び特別展示等の開催) ・展示パネル、パンフレットの多国語標記(英語・中国語・韓国語)の作成 〈指定管理者提案内容〉	
・ボランティアガイドの育成<指定管理者提案内容> 【普及啓発業務】 ・考古資料に関する普及啓発事業の実施(文化財講座, 小中学生夏期教室, 京都市立中学校 チャレンジ体験等の実施や考古資料の貸出しなどによる出土品の活用) 【関係機関との連携強化】 ・教育機関や地域のNPO法人, 文化団体や社会福祉団体などとの幅広い連携による展示見 学や解説, 遺跡めぐりなどの事業の実施 【施設の維持管理】 ・施設の清掃, 警備業務などの日常管理や冷暖房設備等の定期点検等による施設の維持管理 ・防災防火点検, 訓練の実施 (参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容	
②事業実施	
【展示事業】 ・常設展示, 特別展示(2回/年)・速報展(随時)の開催 ・大学との合同企画展の開催<指定管理者提案内容> ・平成24年度入館者数 28,435人(開館以来の最高値) 【普及啓発事業】 ・文化財講座の開催(9回開催・受講者総数1,253名) ・小中学生夏期教室(4日間・参加者総数45名) ・京都市立中学校チャレンジ体験(5校・16名受入) ・博物館学芸員課程実習生の受入(13大学・45名受入) ・文化財, 遺跡マップの作成と遺跡ウォークの実施<指定管理者提案内容> ・考古学体験イベント, 講演会の実施<指定管理者提案内容> ・考古資料の貸出し(継続貸出38件・新規貸出17件) 【関係機関との連携強化】 ・教育機関への協力・受入(27件, 延べ784名受入) ・関係機関への協力・受入(41件, 延べ1,410名受入) (参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容 (参考) 自主事業内容	
③サービス提供状況	
館長1名, 副館長1名, 担当職員2名(うち1名派遣職員) 計4名	
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容	

(2) 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)						
年 度	23年度	24年度	25年度	26年度		
指標① 利用者数 (目標値は過去5年間の利用者数の最高値)						
目標値 (人)	21,683	23,431				
実績値 (人)	23,431	28,435				
対前年度比	-	121.4%				
目標達成度	108.1%	121.4%				
指標② 文化財講座受講者数(目標値は過去5年間の受講者数の最高値)						
目標値 (人)	1,638	1,638				
実績値 (人)	1,540	1,253				
対前年度比	-	81.4%				
目標達成度	94.0%	76.5%				

(3) 指定管理者の業務の収支状況 (単位：円)						
①指定管理業務の収支状況						
年 度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度	2 6 年度		
ア 収入状況						
委託料	25,180,000	25,180,000				
利用料金	-	-				
補助金収入	7,473,661	6,503,125				
その他	49,440	477,241				
収入計	32,703,101	32,160,366				
対前年度比	-	98.3%				
イ 支出状況						
人件費	14,293,307	14,680,496				
事業費	13,835,327	13,899,296				
委託費	3,292,417	3,471,374				
小額修繕費	1,282,050	109,200				
その他	-	-				
支出計	32,703,101	32,160,366				
対前年度比	-	98.3%				
ウ 収支						
収支	0	0				
対前年度比	-	0.0%				
②その他の業務の収支状況						
年 度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度	2 6 年度		
ア 収入状況						
委託料						
補助金収入						
自主事業						
その他						
収入計						
対前年度比						
イ 支出状況						
人件費						
事業費						
委託費						
その他						
支出計						
対前年度比						
ウ 収支						
収支						
対前年度比						

4 施設の利用者満足度の把握

① 利用者満足度の把握状況 ◆1 考古資料館来館者アンケート(通年) 【方 法】 考古資料館来館者に対し、任意記入で実施 【設問数】 基本情報(性別、年齢層、居住地域、来館のきっかけ等)+展示内容等6問 (4段階評価) 【回答数】 342件(24年度) ◆2 文化財講座受講者へのアンケート(通年) 【方 法】 文化財講座の受講者に対し、任意記入で実施。 また、今後の講座でとりあげてほしい内容や意見などの記入欄も設定。 【設問数】 3問(5段階評価1問、自由記入2問) 【回答数】 321件(24年度・9回実施)	② 利用者満足度把握の結果 ◆1 考古資料館来館者アンケート(通年) ・特別展示(よかった76.9%、ふつう12.6%、工夫が必要4.1%、よくない0%、回答なし6.4%) ・情報コーナー(よかった67.3%、ふつう25.1%、工夫が必要2.0%、よくない0%、回答なし5.6%) ・常設展示(よかった59.9%、ふつう25.4%、工夫が必要4.4%、よくない0%、回答なし10.2%) ・展示解説(よかった46.5%、ふつう5.6%、よくない0%、どちらとも5.6%、回答なし47.9%) ・職員の対応(よかった64.3%、ふつう22.5%、よくない1.5%、どちらとも2.0%、回答なし9.6%) ・レイアウト(よかった52.3%、ふつう22.4%、工夫が必要2.4%、よくない0%、回答なし23.0%) ◆2 文化財講座受講者へのアンケート ・講座内容(とてもよかった36.8%、よかった35.8%、ふつう10.9%、やや不満5.6%、不満5.9%、回答なし3.6%)	③ 意見等への主な対応状況 考古資料館来館者アンケートは、平成23年度から実施し、来館者の動向把握に活用するとともに、アンケートの回答を参考に展示方法の改善や職員対応の向上に努めている。また、文化財講座アンケートでは、その回答をもとに、講座のテーマ設定や内容について検討を加えたとともに、講師の説明や講座の進行等についても、より分かりやすいものとなるよう活用を図っている。
--	---	--

5 評価

①指定管理者 (自己評価) 平成24年度は、特別展として、「平清盛一院政と京(みやこ)の変革」(1/28～6/24)、「ひょうげた器—三条せとの屋出土茶陶—」(7/14～12/2)、「伏見人形」(2/9～6/30)を開催するとともに、その積極的なPRや、展示内容においても、多くの方々に関心が得られるよう創意工夫に努めた。また、23年度同様、大学が多くある京都の地の利を活かして、大学との合同企画展(京都橘大学及び立命館大学との合同企画展「京都考古学探検隊—開け!過去の扉—」)を開催するなど、学術的な貢献のみならず、学生など若者の来館促進に向けた取組を行った。更には、これまでからの各種の取組に加えて、京都市との連携のもと、文化庁助成金を活用して、京都の歴史文化に関わる普及啓発事業の実施や、考古資料館のパネル・パンフレットの多国語化などにも取り組んだ。その結果、考古資料館の入館者は、23年度に引き続き開館以来最高の入館者を得ることができた。 今後においても、施設や機器の老朽化や厳しい財源等の課題はあるものの、当財団の有する専門知識や幅広いネットワークを活用して、文化財保護や歴史文化の啓蒙に向けて、考古資料館の一層の活性化と効果的な普及啓発事業に取り組んでいきたい。	②本市 (指定管理者に対する評価) 公共機関のみならず、大学等の学術機関、NPO、地域団体等との連携のもと、新たな企画や事業を積極的に展開することによって、入館者数については、目標値を大幅に上回る結果が得られるとともに、展示内容や事業の内容についても、質的にも多くの方々から好評が得られている。今後においても、引き続き、幅広い事業展開に努めるとともに、より多くの入館者数が得られるよう、展示内容の充実やサービスの向上に努めていくよう指導していく。
---	--